

10月の行事予定

12	水	運動会予行
13	木	学年費自動振替日、がんばりタイム(低)
14	金	運動会準備
15	土	運動会
16	日	
17	月	振替休業日(15日の運動会)
18	火	放
19	水	みどり園見学(4年)
20	木	代表委員会(昼)
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	児童朝会、委員会活動、SC勤務日
25	火	放
26	水	魚の上手な食べ方教室(1・2年)
27	木	社会見学(5年)、がんばりタイム(低)
28	金	環境体験学習(3年)
29	土	PTA漢字検定、多可町子ども作品展
30	日	修学旅行(6年)、多可町子ども作品展
31	月	修学旅行(6年)、がんばりタイム(高)

11月の行事予定

1	火	登校指導、振替休業日(6年)、放
2	水	社会見学(3年)
3	木	文化の日
4	金	社会見学(4年)、PTA幹事会19:00
5	土	
6	日	
7	月	いのちと人権の集会、スマイル班遊び 社会見学(1年)、がんばりタイム(高)
8	火	スマイル班遊び、放
9	水	スマイル班遊び
10	木	オープンスクール、がんばりタイム(低)
11	金	
12	土	親子ふれあい活動(5年)
13	日	
14	月	朝会、委員会活動
15	火	学年費自動振替日、放

放 放課後子ども広場

11/30 マラソン大会

12/3~4 北播書道展(河合小)

PTA奉仕作業



例年8月に実施していましたが、今年は9月に行いました。今年の草は天候の加減でしょうか、すごい勢いで成長しました。学校職員も少しずつ除草作業をしましたが、なかなか・・・。3団体と4団体の保護者の皆さまには、草刈り、草引き、窓ガラス掃除、さび落としとペンキ塗り、草置き場の処分など大変お世話になりました。

不審者対応職員研修



西脇警察署の警察官に不審者になっていただき、侵入者に対する職員研修を行いました。いかに迅速に初期対応をするか、そして職員同士で伝達するかがポイントになるようです。「不審者」と判断すると同時に、「県警ホットライン(専用インターホンのようなもの)」で県警本部に通報するとパトカーが手配され警察官が急行してくる仕組みになっています。

平日夜間・土日祝日の小学校への緊急連絡は、
役場32-2380、教育委員会32-2395まで



学校教育目標：いのちと人権を大切にし、こころ豊かでたくましく生きる児童の育成

松井小学校のホームページ<http://www.takacho.jp/matsuies/> 「松井小」で検索

秋の読書のすすめ

校長 橋本 衛

本校の全国学力・学習状況調査の生活質問紙の結果から、「普段(月曜～金曜)にどれだけ読書を読みますか」という質問に対し、1時間以上読書をする児童が22%でした。「普段(月曜～金曜)にどれだけテレビゲーム(コンピュータゲーム・携帯式のゲーム・携帯電話やスマホを使ったゲーム)を読みますか」という質問に対しては、1時間以上ゲームをする児童が86%でした。家庭においては、文字を目で追うことより、画面を見つめる時間の方がはるかに多いようです。

本を読むことのメリットが多いことは、よく言われることです。私は「想像力をはたらかせることができ、想像力が豊かになること」が大きなメリットだと考えています。

読書では、文字を読みながら、自分の今までの体験を呼び起こしたり、想像したりして、頭の中にその場面や映像をつくらせていきます。読み進めることで、頭の中に想像した映像を次々につくり続けていくのです。

一方で、いろいろな情報を得るには、インターネットやYouTubeが便利な世の中になっています。調べものをするときも、本よりもインターネットやYouTubeの方が多く利用されています。インターネットはわかりやすく画像付きで紹介してくれますし、YouTubeは動画で紹介してくれます。

しかし、これらは大変便利ですが、最初から映像ができていますので、自分の頭をまったく使うことがありません。子ども達の脳の発達を考えると、よいものとは思えません。

読書のきっかけは、どんな本からでもいいと思います。絵本、図鑑、小説、漫画……。興味のない本ほどつまらないものはありませんから。

さあ、この秋にみなさんも本を読んでみてはどうでしょうか。



絵本の読み聞かせ劇場



学期に一度、朝の学習の時間に担任外の教員が各学級へ行き、読み聞かせ活動をしています。

写真は6年生の教室で、絵本の読み聞かせをしている場面です。子どもたちは、おはなしは大好きです。おうちでも、ぜひ一緒にどうぞ。

図書室の環境整備



図書ボランティアのご提案により、図書室の絵本コーナーのクッションシート(裸足で上がる部分)を新しくしました。



わくわくベルディー(4年生)



10月6日に多可町の全小学4年生がベルディーホールに招待されました。ベルディホールの文化会館としての建物の仕組みや機能を教えてもらいました。音を出すためのスピーカーの工夫説明や演出を高める照明室、出演者が使う楽屋見学をしました。一番ドキドキしたのは、客席の上の屋根裏に当たる階の見学でした(左の写真)。金網の歩く部分からは、階下の客席が透けて見え下腹がスーッとするような感覚を感じましたが、なかなか入ることのない場所だけに、貴重な体験が

できました。見学の後は、玉田玉秀齋さんの講談を鑑賞しました。その講談では、代表児童(☆☆☆☆さん)が講談体験として講談で自己紹介(名乗り)をさせていただく場面もありました。



シャボン玉あそび(1年生)



シャボン玉づくりに挑戦しました。普通のストローで吹くだけではなく、シャボン玉をつくる道具をそれぞれ工夫していました。大きなシャボン玉をつくらうとする児童やいっぺんにたくさんのシャボン玉を作らうとする児童やいろいろでした。



Aコープ見学(3年生)

Aコープかみ店に見学に行きました。商品の陳列についての工夫や商品の管理方法など話を聞きました。また、お客さんへのいろいろなサービスについても教えていただきました。いつもは、買う方の立場なので、売る方の立場で考えることがないだけに、へえーという驚きがいっぱいありました。しかし、昼食前の見学でしたので、食べたいお菓子もいっぱいありました。



卒業証書づくり(6年生)

6年生が自分の卒業証書づくりに挑戦しました。多可町特産の杉原紙です。和紙を漉くのは、なかなか難しい作業です。油断をするとしわが寄ってしまい、何度もやり直しをした児童もいました。和紙は2枚漉いて裏面に自分の名前を貼りました。これで自分オリジナルの卒業証書が完成します。

世界にひとつだけの卒業証書づくりということもあって、無駄話もせず真剣に現地スタッフの話の聞き作業に取り組んでいました。写真からもその緊張した様子が伝わってくると思います。



いきいき献立(4年生)

9月14日は「多可町っ子いきいき献立」で地元の播州百日どりが出ました。その給食を食べる前に播州百日どりについて、株式会社加美鳥の代表・石塚竜司さんとみのり農業協同組合の長尾さんに教えていただきました。

普通のブロイラーの飼育日数の2倍の100日

間育てることから、百日どりという名前であるということ基本的なことから、飼育にかかる苦労話や楽しいことをいろいろと知ることができました。

播州地卵の鮮やかな黄色は、パプリカの粉とマリーゴールドを使うという話にも大変興味深く聞き入っていました。



王子動物園見学(2年生)

9月16日に神戸市立王子動物園に社会見学に出かけました。王子動物園は日本で唯一、パンダとコアラに会える場所として有名です。パンダのタンタンは心臓病の治療のため観

覧中止中でしたが、迫力満点のライオンやキュートなレッサー

パンダ、とっても大きいゾウなどを見て、子どもたちのテンションは上がりまくっていました。学校に帰ってから、後日に自分のお気に入りの動物の絵を描くため、お目当ての動物をロックオンしていました。また、動物園のスタッフからの講義も受けて、動物園の獣医さんのことも勉強しました。

